

未来型図書館つながるミーティング

～本づくりワークショップから図書館を構想しよう～

【第3回】

2022年9月19日（月・祝）

未来型図書館つながるミーティング
～本づくりワークショップから図書館を構想しよう～ [第3回]

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 挨拶 | 13:30-13:35 (5分) |
| <hr/> | |
| 2. オリエンテーション : arg | 13:35-14:05 (30分) |
| <ul style="list-style-type: none">・ 事例紹介・ 方向性・目的の共有・ 第1・2回の振り返り・ 資源マップづくりの方法・ポイント | |
| <hr/> | |
| 3. 対話「こまつ地域資源マップをつくり可視化しよう」 | 14:05-15:25 (80分) |
| <hr/> | |
| (休憩 : 10分) | |
| <hr/> | |
| 4. 共有 | 15:35-15:55 (20分) |
| <hr/> | |
| 5. まとめ : arg | 15:55-16:00 (5分) |

オリエンテーション

安らぐ

解決する

知る

つながる

遊ぶ

学ぶ

つくる

図書館 の 可能性

を見つける

表現する

体験する



「未来型図書館」ができることで
小松市というまちは、
わたしたちの暮らしは、
どう変わっていくのだろうか？

「未来型図書館」ができるまでの道のり

<わたしたち>にとって
「未来型図書館」とは何か



基本構想

基本計画

設計・工事
管理運営検討

開館

未来型図書館のあり方に関
する調査研究報告書

<わたしたち>にとって「未来型図書館」とは何か

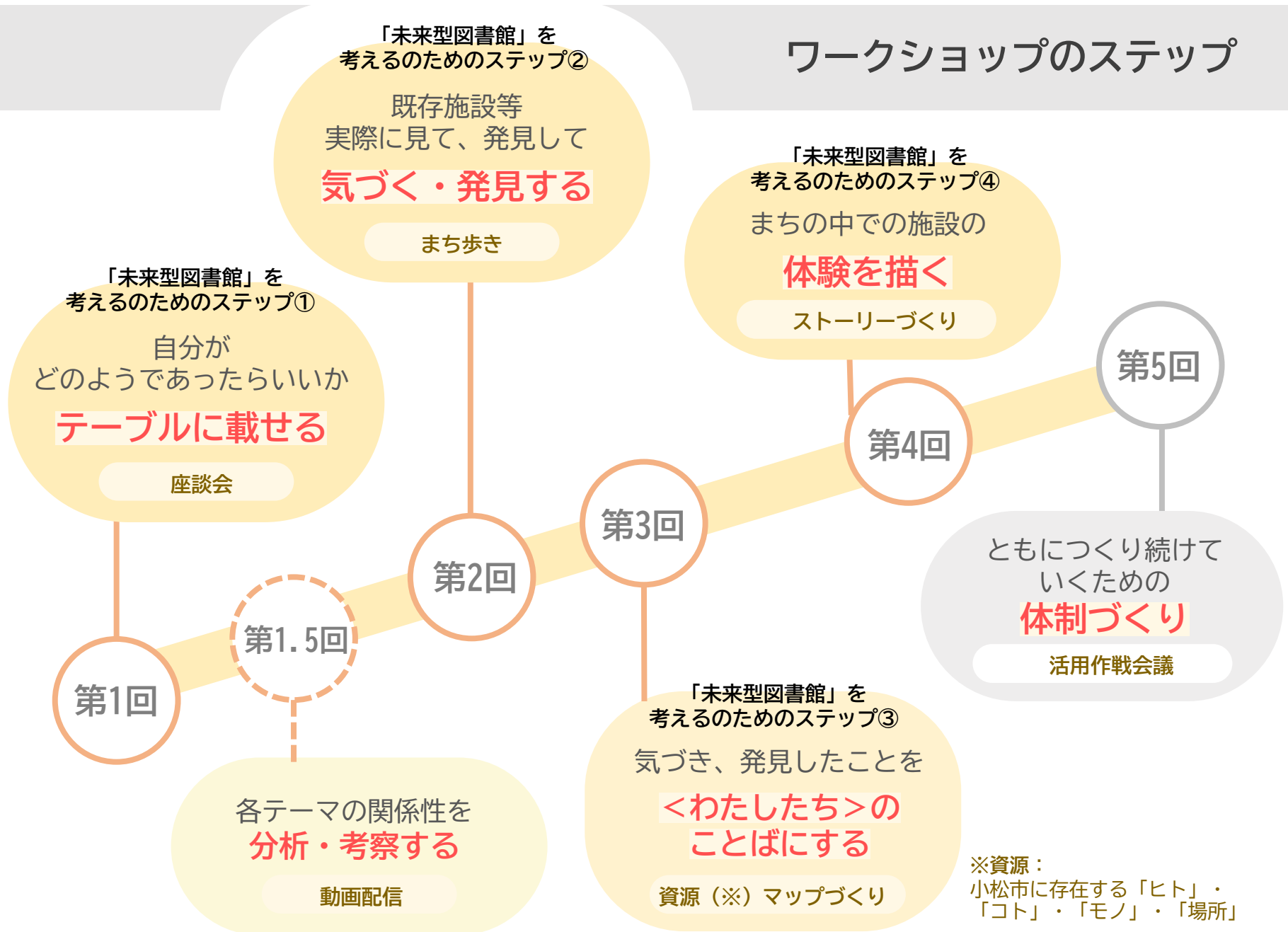
「未来型図書館」ができることで、小松市というまちは、わたしたちの暮らしは、どう変わっていくのだろうか？

それを考えるために

小松市という
まちのことを
知る

<わたしたち>
自身のことを
知る

ワークショップのステップ



7月

9月

1

2

3

小松市というまちについて知り、考えよう

自分が
どのようにあったらいいか

テーブルに載せる

座談会

既存施設等
実際に見て、発見して

気づく・発見する

まち歩き

気づき、発見したことを

<わたしたち>の
ことばにする

資源（※）マップづくり

※資源：小松市に存在する「ヒト」・
「コト」・「モノ」・「場所」

小松市というまちの中で、
未来型図書館がどんな役割や機能を果たすか考えるために
まず、<わたしたち>自身がまちについて知り、
考えてみることから始めます。

7月

1

9月

2

3

自分が
どのようなであつたらいいか

テーブルに載せる

座談会

開催済み！

第1回

「未来型図書館」を ともに描いていくための“視点”を見つける

思いをテーブルにのせ
テーマを設定しよう！

対話1 それぞれの思いを共有しよう

「未来型図書館」ができることで、小松市というまちで、
自分がどんなことが出来るようになるといいか」

共有しよう

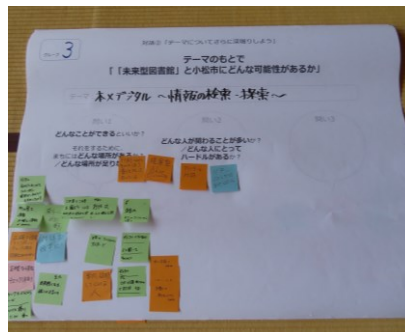


対話2 テーマについてさらに掘り下げよう

関心のあるテーマのもとで

「未来型図書館」と小松市にどんな可能性があるか

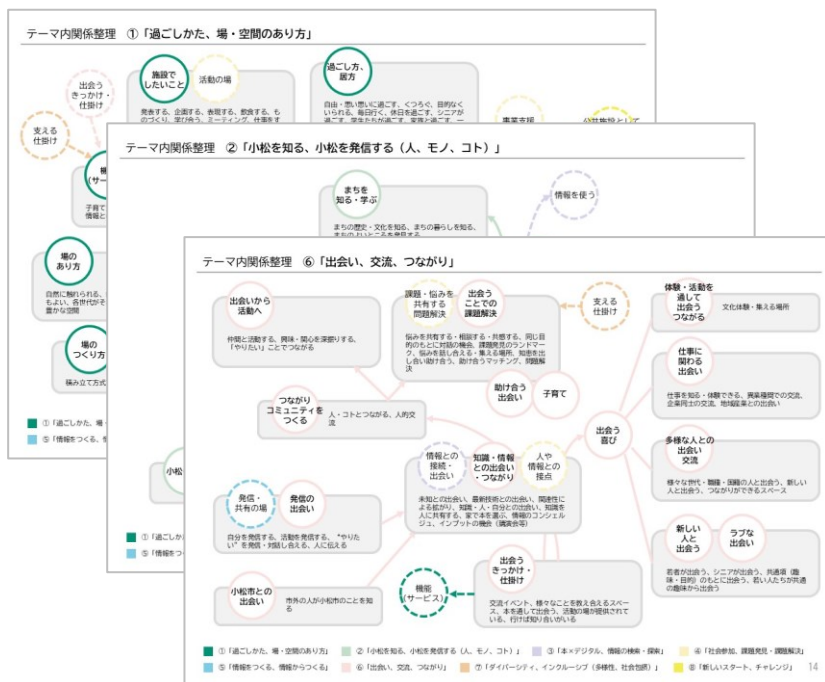
考えよう



第1回つながるミーティング結果を踏まえた未来型図書館テーマ内関係整理とテーマ連関図

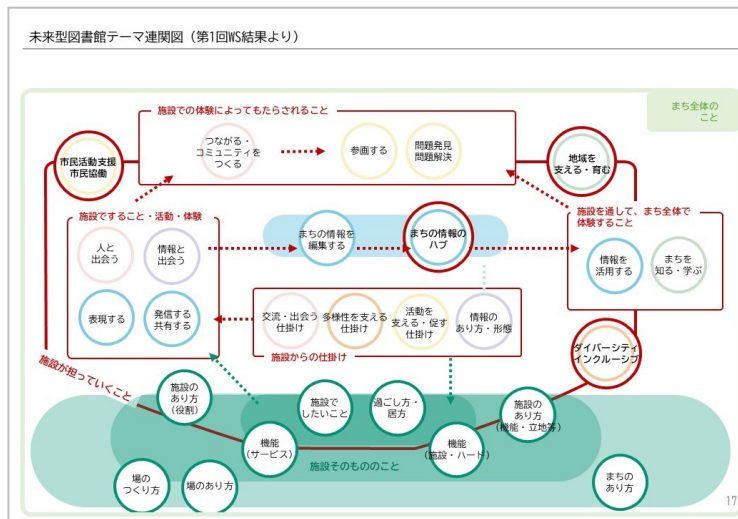
テーマ内関係整理図

各テーマのなかで出てきた視点（カテゴリー）がテーマのなかで、もしくは他のテーマのカテゴリーとどのような関係にあるかを整理した図。



テーマ連関図

未来型図書館がどのような体験を生んで、どのようにまちに作用していくか、そのために未来型図書館はどのような施設となるべきかを考える土台として、つながるミーティング第1回の結果全体を整理した図。これからの委員会での議論やつながるミーティングを踏まえて更新していきます。



つながるミーティングの第1.5回として、第1回の対話から見えてきた考察結果の解説動画を配信しました。

市サイトに公開しています→<https://youtu.be/a6fMmR1N1Do>

7月

1

9月

2

3

既存施設等
実際に見て、発見して
気づく・発見する

まち歩き

開催済み！

第2回

小松市に存在する（もしくは足りない）
地域資源（ヒト・モノ・コト）を見つける

まちを歩いて発見しよう！

第2回 3. まち歩き「まちを歩いて発見しよう」（130分）※休憩含む

②まち歩き（取材・フィールドワーク）（目安80～90分程度）

準備ができたグループから、検討したルートをもとに各グループまち歩きを行う。

【まち歩きの視点】

a

自分たちがイメージしているものと**近い環境・状況**を発見する。

b

イメージしている機能と現状の環境が**どう離れているか**を確認する。

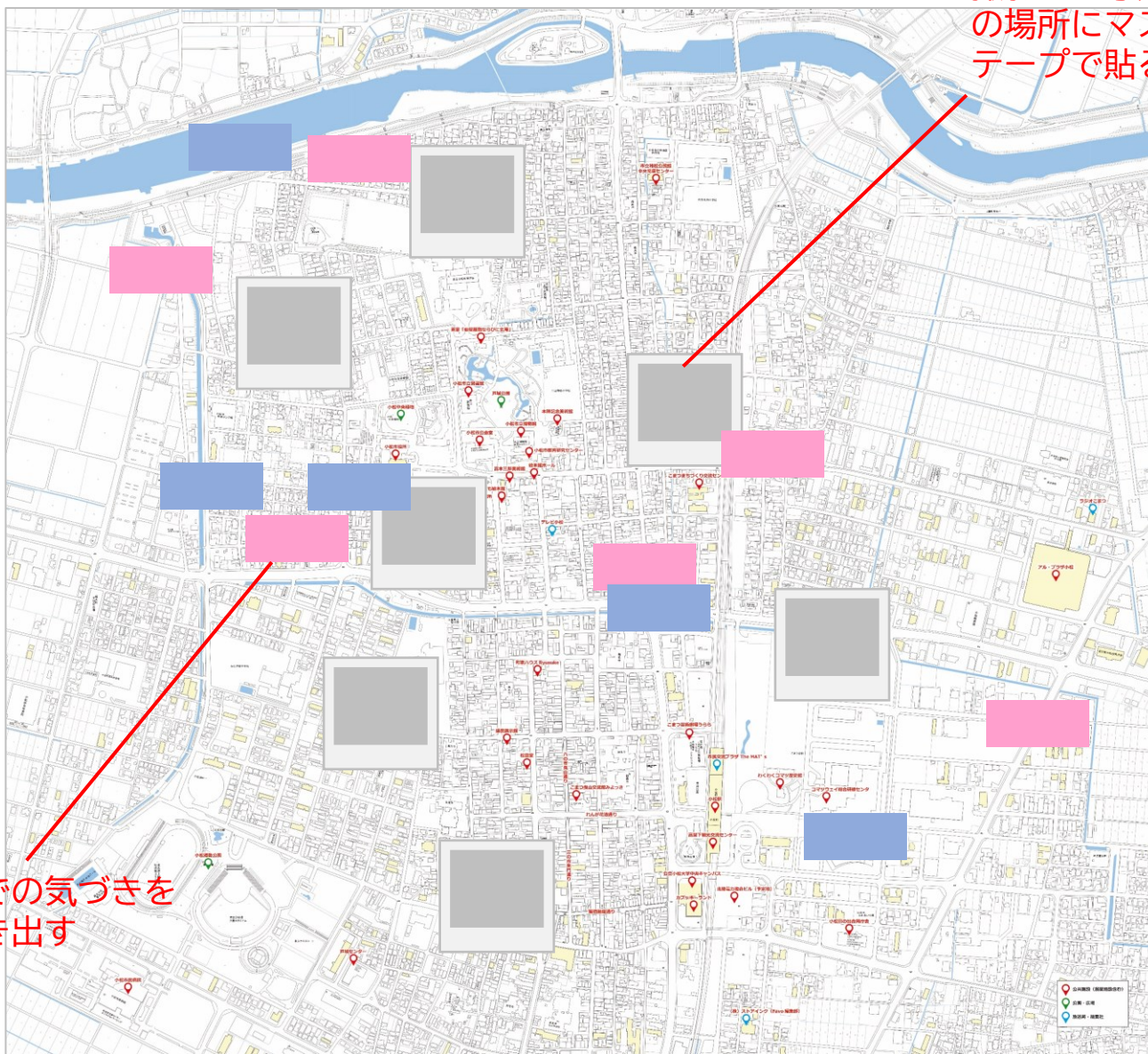
c

新たに地域資源を発見する。

第2回 4. まち歩きの写真の書き出し (30分)

撮影した写真を、該当
の場所にマスキング
テープで貼る

まち歩きでの気づきを
付箋で書き出す



実際にまちを歩いて
どんなことが
見えてきましたか？

7月

1

9月

2

3

気づき、発見したことを

<わたしたち>の
ことばにする

資源（※）マップづくり

第3回

※資源：小松市に存在する「ヒト」・
「コト」・「モノ」・「場所」

まちの資源※と「未来型図書館」をつなげて、
まちでどんなことができるようにしたいか

「こまつ地域資源マップ」をつくり可視化しよう！

※地域資源：小松市に存在する「ヒト」・「コト」・「モノ」・「場所」

3. 対話「こまつ地域資源マップをつくり可視化しよう」（80分）

①共有する・焦点を絞る

第2回の最後に書き出したメモを見ながら、まち歩きの内容やメモに現れなかった視点についてそれぞれの考えを共有し、マップづくりに向けて話し合う。

第1回の結果と まち歩きの気づきの整理

第1回で想像した未来型図書館とまちの可能性と、実際にまちを歩いた気づきを照らし合わせて整理する。

- ・ 小松市にある地域資源
- ・ 小松市にない地域資源
- ・ 具体的に見えてきた、新たに見えてきた可能性

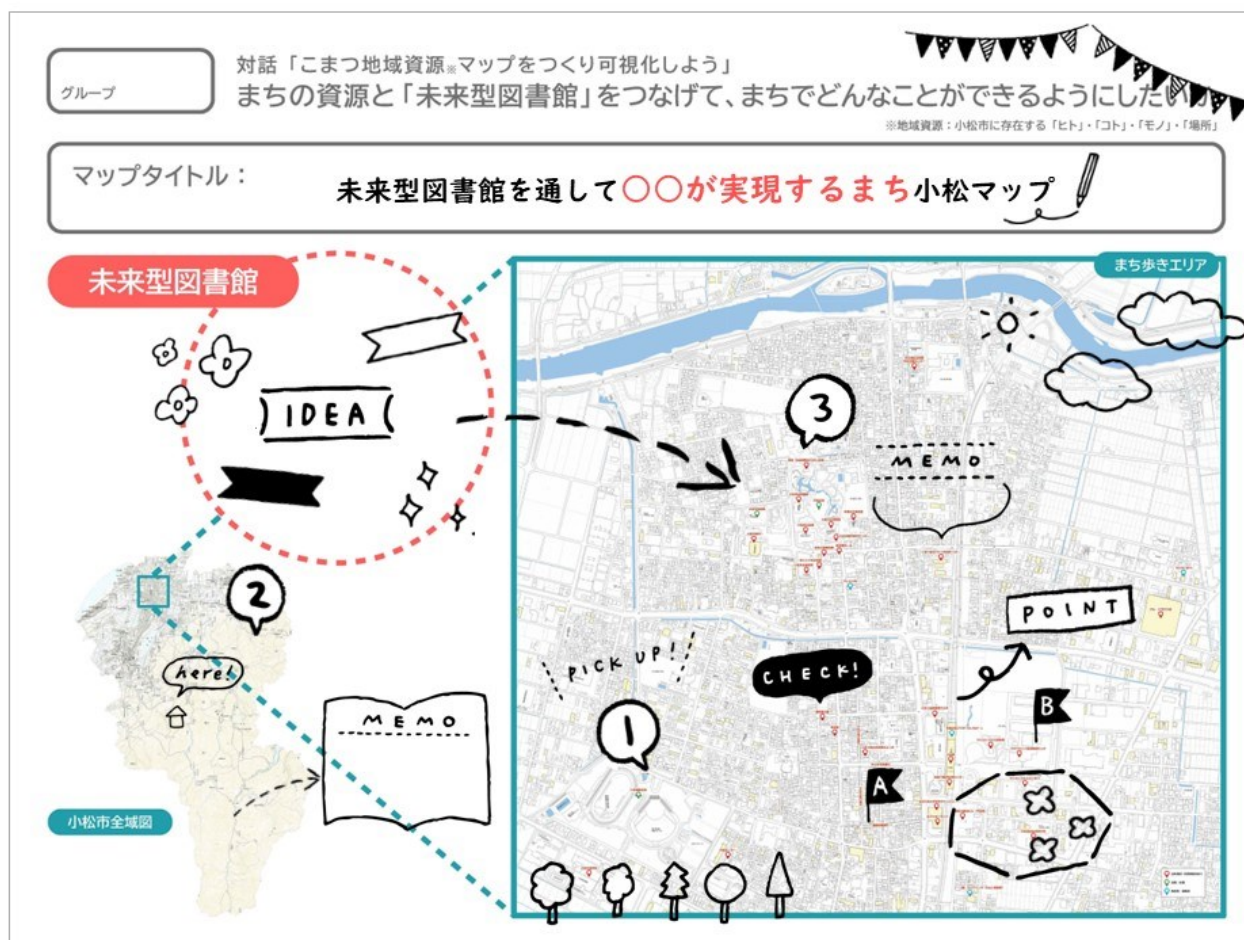
焦点を絞る →マップにタイトルを付ける

グループのなかで特に関心が強いところ、重点が置かれているところは何だろうか？「こまつ地域資源マップ」にタイトルを付けよう。

（例）「未来型図書館を通して
〇〇が実現するまち小松マップ」

②マップづくり

各グループが考えたマップのタイトルのもとに、まち歩きから見えてきたこと（もしくはメンバーそれぞれがまちについて知っている情報）から、何を、どのように掲載するとわかりやすいだろうか？“編集”を意識してマップを作ろう。



<わたしたち>の未来型図書館をつくるために
ともに知り、ともに考えたことを
本というかたちとしてつくり、その先のステップにつなげます

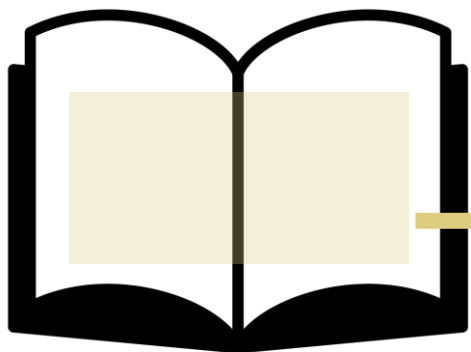
7月

1

9月

2

3



小松市というまちについてともに知り、
考えながらつくった

こまつ地域資源マップは、
この本の一つのコンテンツとなります

第4回 予告

まちの中での施設の
体験を描く

「未来型図書館周辺の妄想ストーリー」 を描こう

- 開催日：12月開催予定
- 会場：未定